



〒545-0051
 大阪市阿倍野区旭町1-1-28ニチマンビル
 TEL.06-6647-3454 FAX.06-6644-1128
 社団法人 大阪府臨床検査技師会
 発行責任者: 朝山 均
 大臨技ホームページURL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

お 知 ら せ

日本臨床衛生検査技師会 平成16・17年度 会長選挙に伴う推薦について

大阪府臨床検査技師会 会長 朝山 均

会員の皆様方には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、大臨技事業にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて今般、平成16・17年度の日臨技役員改選において会長立候補者が複数になりました。会長選挙は、全国会員皆様方の投票によって決定します。立候補者は、村瀬 光春氏(愛媛県)と小崎 繁昭氏(埼玉県)のお二人です。

大臨技をはじめ近畿臨床衛生検査技師会(2府5県)は、諸事情を考慮した結果、村瀬 光春氏を会長候

補として推薦させていただくことになりました。

村瀬氏は、平成2年より日臨技の役員として活躍され、この間総務部(経理)、学術部(生涯教育)を担当、平成12年からは学術担当副会長となり検査研究班、精度管理事業、国際交流等の学術部事業を掌理し、自らも臨床検査技師として物事に挑戦、実践され現会長の補佐役で組織強化に貢献されています。

当然のことながら、氏は愛媛県技師会会長、四国技師会会長も歴任され、地区においても活躍されました。

私も氏と一緒に日臨技で仕事をさせていただき、その温厚で包容力があり大局を見極める資質には敬服しています。今後の日臨技のあるべき姿と臨床検査技師の将来に向けて情熱を抱いておられる村瀬氏こそ次期会長に相応しいと考えるしだいで。

会員の皆様におかれましては、この度の選挙において棄権することなく投票をお願いするとともに、村瀬光春氏に清き一票！を。

【村瀬氏のプロフィール、推薦については大臨技ホームページにて詳細を掲載しております。】

第5回「大放技・大臨技合同フォーラム」開催のお知らせ

日 時：平成16年1月17日(土) 15:00~18:00

場 所：大阪府立成人病センター 本館講堂

内 容：Ⅰ.学術フォーラム

「がんと闘うメディカルの最新技術」

司会：(大放技) 松本 貴 (大阪大学附属病院)

講演Ⅰ-1(大放技)「がん診断の切札? PETの基礎」
岡 尚嗣 (国立循環器病センター)

講演Ⅰ-2(大臨技)「免疫組織化学検査の実際-基本操作と実例-」
佐々木 政臣 (大阪市立大学附属病院)

Ⅱ. 特別講演

「サプリメントの最近の話題

—特にビタミンサプリメントの現状と新しい可能性—

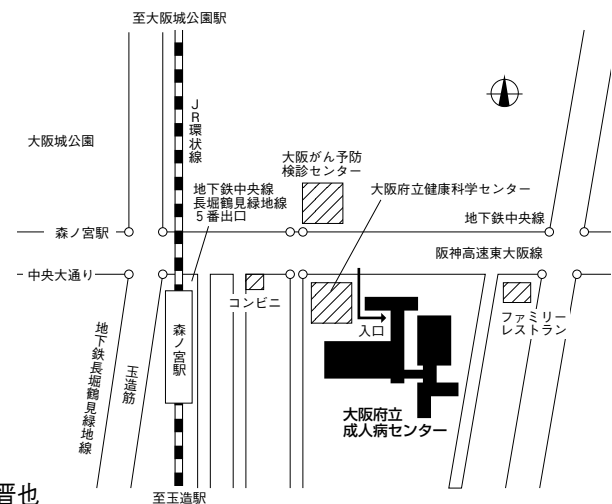
司会：(大臨技) 会長 朝山 均

講師：大塚製薬(株)ヘルスケア事業部製品部M.S.G 石田 晋也

参加費：500円(会員・非会員とも)

連絡先：多根総合病院 竹浦 久司 F A X : 06-6585-2746 E-mail : q_take@tane.or.jp

主 催：社団法人 大阪府放射線技師会、社団法人 大阪府臨床検査技師会



① 日臨技会長選挙日程と選挙への協力について

平成16・17年度の日臨技会長選挙が平成16年1月10日に実施されます。会員各位におかれましては、棄権されませんようご協力をお願いいたします。

学術部 形態検査部門 血液検査分野&染色体検査分野からのお知らせ

お詫び

11月号の15年度血液形態特別講演会の案内で訂正があります。
血液検査分野と染色体検査分野で合同で講演会を開催する事となりましたので開始時間と演題と講師の一部に追加があります。

15年度 血液形態特別講演会 (血液検査分野と染色体検査分野合同講演会)

日 時：平成15年12月6日(土)
場 所：アベノメディックス 6階ホール
参加費：会員 500円、非会員 3,000円
評価点：C-10点
連絡先：りんくう総合医療センター・市立泉佐野病院
検査部 根来 利次
TEL：0724-69-3111
星ヶ丘厚生年金病院 検査部 鳩宿 敏彦
TEL：072-840-2640

内 容

メインテーマ
「これで安心・染色体と血液分野から見た悪性リンパ腫」
14：15～15：00
「染色体について」
大阪府立成人病センター 検査科 中野 恭子
15：15～16：45
「正常から各種悪性リンパ腫における組織細胞像と免疫形質」
大阪市立大学医学部附属病院病理部 佐々木 政臣
16：45～17：00
質疑応答

学術部 検査管理部門 検査機器管理分野からのお知らせ

平成15年度 機器管理分野 特別講演会

本年度の検査管理部門は、管理運営・精度管理・機器管理・情報管理の各部門合同で講演会を4回開催する予定になっています。第3回目は機器管理分野主催で、『機器管理講演会』を企画しました。

多くの方のご参加をお待ちしています。また機器管理についてご興味のある方、緊急検査について悩んでいる方は、ぜひご参加してご討議していただきたいと思います。



日 時：平成15年12月6日(土) 14：30～17：00
場 所：国立病院 大阪医療センター (旧 国立大阪病院)
地域医療研修センター 2F会議室
☎ <http://www.osaka-amt.or.jp/map/04.html>
内 容：「基礎から学ぶ緊急検査機器管理講演会-緊急検査を行うのが不安な人のために-」
1. 緊急検査における機器の原理と異常値への対応方法
尿・血算・生化学・血液ガス・感染症の各機器メーカーの担当者から
・緊急検査機器の原理、測定方法、測定時間、異常反応、異常値への対応方法
・簡単なメンテナンス方法等について
について解説していただきます。
2. 輸血検査時の注意点
講師：松下記念病院 中央臨床検査部 西川 昌伸
3. 三次救急の実際 臨床側からみた検査への要望
講師：国立病院大阪医療センター 総合救急部 若井 聡智
参加費：会員 500円、非会員3,000円
評価点：B-10点
連絡先：松下記念病院 中央臨床検査部 中島 康仁
TEL：06-6992-1231 (内線 3224)
E-mail：fwhz2544@mb.infoweb.ne.jp

他府県主催の研修会について

大臨技(日臨技)会員は、他府県で行われている勉強会に会員と同等の参加費用で参加することができます。その際は、会員証を忘れずに持って行くようにしてください。他府県で行われている研修会などに関する情報は、各府県のホームページに掲載されていますので、そちらで確認してください。

ただ、他臨技主催のものは、それぞれの府県の会員を優先することが前提になりますので、その点はご了承ください。

☎ 京都府：<http://www.kyoto-amt.js-md.net/>

☎ 奈良県：<http://naraamt.or.jp/>

☎ 兵庫県：<http://www.hamt.or.jp/>

☎ 滋賀県：<http://www.biwa.ne.jp/~samt/>

(福井県と和歌山県は、今のところ未開設)

学術部 生理機能検査部門からのお知らせ

画像検査分野

腹部超音波技術研究会
冬期特別研究会

最近、超音波では常に血流に関する話題が取り上げられています。そこで今回の研究会では血流をテーマに2つの話題に関するご講演をお願いしました。

前半は、やや超音波からは離れますが、降圧剤と腎血流について、白鷺病院、平田先生にご講演いただきます。“薬のことなんて関係ないよ”と考えている検査技師が多いと思いますが、降圧剤の特徴を知っていることは腎血流を考えるうえで重要です。

後半は、新しい造影剤に関する話題です。レボピストに次ぐ新しい造影剤が国内でも、来年から臨床で使用可能か?? という状況です。そこで、東芝メディカル島野先生とGE横河メディカルシステム 江尻先生に、現在の造影検査の現状と新しい造影検査法の展望についてご講演いただきます。東芝メディカルではAdvance Dynamic Flowというwide band Doppler法、GE横河メディカルシステムではCorded 技術を用いたBmode harmonic法と、異なる手法を用いて造影像を作っている点が興味深く、2社からのご講演をお願いしました。多数のご参加をお待ちいたします。

日時：平成15年12月17日(水) 18:30~20:00

場所：大阪市立大学 医学部 4階 大講義室

内容：第1部/18:30~19:00

降圧剤と腎血流

白鷺病院研究室次長・薬剤科 平田 純生

第2部/19:00~20:00

超音波造影検査の最近の動向

東芝メディカルシステム 島野 俊彰

GE横河メディカル 江尻 昭

参加費：年会費 2,000円、一回参加費 500円

連絡先：住友病院 画像診断部超音波検査室 尾羽根 範員

TEL: 06-6443-1261

E-mail: obane-norikazu@sumitomo-hp.or.jp

機能検査分野
呼吸機能実技講習会
参加者募 集

日時：平成16年1月24日(土) 14:00~17:00頃

場所：ミナト医科学 予定

講師：部会世話人ほか

募集人数：約20名

締め切り：平成16年1月9日 必着

会費：2,000円

申し込み方法

往復ハガキに会員番号、氏名、年齢、経験年数、施設名、施設住所、〒、施設電話番号(内線)、メールアドレスと希望コース(スパイロカ精密)を明記し、返信用に宛先を記入の上、下記へ申し込み下さい。

注：記載事項が不備の場合お断りすることがありますのでご注意ください。

また、同一施設で複数名受講希望する場合は、別々のハガキにてお申し込み下さい。

〒545-8586 住所不要

大阪市立大学医学部付属病院 中央臨床検査部

藤岡 一也 宛

◎お問い合わせはFAXまたはEメールでお願いします。

F A X : 06-6636-3627

(検査部事務室につきますので宛先を生理;藤岡として下さい)

E-mail : kfujioka@msic.med.osaka-cu.ac.jp



評価点 = 日臨技生涯教育点数

学術部 感染・免疫検査部門 輸血移植検査分野からのお知らせ

■ 症例検討会「輸血副作用」

日時：平成16年1月17日(土) 14:00~16:30

場所：大阪府赤十字血液センター 7階 研修室

JR環状線・地下鉄「森ノ宮」下車 東へ200m

(車での来場はご遠慮下さい。)

内 容

溶血性輸血副作用、非溶血性輸血副作用の症例を数例取り上げて、グループディスカッションを行う予定です。また、自施設の症例で取り上げて欲しい症例がありましたら上記のFAX番号で近畿大学 金光までご連絡下さい。申し込み締め切りは、平成15年12月17日です。

参加費：技師会会員 500円、非会員 3,000円

当日受付にて会員証(カード)を提示して下さい。

評価点：C-10

連絡先：近畿大学医学部附属病院 金光 靖

F A X : 072-368-1025

(E-mail) : yuketsu@med.kindai.ac.jp

2003

12月大臨技行事予定表

研修A = 日臨技生涯教育点数A
 研修B = 日臨技生涯教育点数B
 研修C = 日臨技生涯教育点数C

1月		14日	
2火	渉外部会 場所：大臨技事務所 時間：19:00~20:30	15月	
3水	2004年1月号大臨技ニュース、行事予定締め切り	16火	
4木	研修C-10 形態部門 血液検査分野 血液形態セミナー(シニアコース) 「標本検討会」(事前申し込み制) 場所：アベノメディックス7階研修室 時間：18:30~ 講師：部会世話人 会員参加費：会員制ですがオブザーバーの参加費は500円 連絡先(E-mail)：市立泉佐野病院 根来 利次 (kensa@rgmc.izumisano.osaka.jp)	17水	研修C-10 生理検査部門 画像検査分野講演会 「腹部超音波技術研究会・冬期特別研究会」 場所：大阪市立大学4階 大講義室 時間：18:30~20:00 会員参加費：年会費 2,000円、一回参加費 500円 連絡先(E-mail)：住友病院 画像診断部 超音波検査室 尾羽根 範員 (obane-norikazu@sumitomo-hp.or.jp) 1. 降圧剤と腎血流 講師：白鷺病院研究室次長・薬剤科 平田 純生 2. 超音波造影検査の最近の動向 講師：東芝メディカルシステム 島野 俊彰 GE横河メディカル 江尻 昭
5金		18木	情報組織部会 場所：大臨技事務所 時間：18:30~20:30
6土	研修C-10 生涯教育推進講座 検査管理部門 機器管理分野 特別講演会 「基礎から学ぶ緊急検査機器管理講演会 -緊急検査を行うのが不安な人のために-」 場所：国立病院 大阪医療センター (旧 国立大阪病院) 地域医療研修センター2F会議室 時間：14:30~17:30 会員参加費：500円 連絡先(E-mail)：松下記念病院 中島 康仁 (fwhz2544@mb.infoweb.ne.jp) 1. 緊急検査における機器の原理と異常値への対応方法 講師：各機器メーカー担当者 2. 輸血検査時の注意点 講師：松下記念病院 西川 昌伸 3. 三次救急の実際 臨床側からみた検査への要望 講師：国立病院大阪医療センター 総合救急部 若井 聡智 研修C-10 形態部門 血液検査分野と染色体検査分野合同講演会 「これで安心・染色体と血液分野から見た悪性リンパ腫」 場所：アベノメディックス 6階ホール 時間：14:15~17:00 会員参加費：500円 講師：大阪府立成人病センター検査科 中野 恭子 大阪市立大学医学部附属病院病理部 佐々木政臣 連絡先(E-mail)：市立泉佐野病院 根来 利次 (kensa@rgmc.izumisano.osaka.jp)	19金	
7日		20土	
8月		21日	
9火		22月	
10水		23火	
11木	大臨技理事会 場所：大臨技事務所 時間：18:30~20:30	24水	
12金		25木	
13土	研修B-10 検査管理部門 情報管理分野講習会 「アプリケーション入門講座」(事前申し込み制) Excel入門講習会~ちょっとした裏技教えます!~ 場所：大阪医療技術専門学校 時間：14:00~17:00 講師：大阪鉄道病院 保健管理部 大江 泰浩 会員参加費：500円 連絡先(E-mail)：大阪メディカルラボラトリー 佐藤 宏美 (romi@skyblue.ocn.ne.jp)	26金	
		27土	
		28日	
		29月	
		30火	
		31水	



気になるギモンに
お答えします！

Q1 粘液糸の鑑別と報告

電子カルテの開始に伴い、尿沈渣の結果もオンラインで返送することになりました。

検査項目のマスター化の作業には日臨技の「尿沈渣検査法2000」を参考にしました。その際、いまままで何気なく伝票に報告していた「粘液糸」のことが書かれていないことに初めて気づきました。

現在、「粘液糸」についてはどのように判断し、報告すればよいのか改めてご教授いただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。(匿名)



A1 お答えします

尿沈渣中の粘液糸は硝子円柱との鑑別が重要となります。

鑑別点としては、平行部分の有無・辺縁の明瞭度・均質な内部構造の有無などがあげられます。

また硝子円柱は短径が白血球以上(10μm以上)と一般的にいわれています。これらを考慮の上、判定します。

報告については日臨技一般分野長の油野先生にお伺ひしたところ、JCCLSや旧研究班の尿沈渣検査法検討会で正式に論議されたことは無いとの事でした。

私個人の考えとしては、粘液糸は炎症時やその回復時あるいは健康者にも出現しますが、疾患特異性がないこと、病変の推定(有無の判定)ができないという点で、臨床側に報告する必要性は少ないと考えています。

臨床側と相談の上、ご施設での報告法を決められてはいかがでしょうか。

参考文献
近藤清志：硝子円柱と粘液糸の鑑別点。検査と技術30：460，2002

(社団法人 大阪府臨床検査技師会)
学術部 佐々木 正義

Q2 抗ガラクトース欠損IgG抗体検査(CARF)用検体の保存法

基本的な質問で恐縮なのですが、抗ガラクトース欠損IgG検査(CARF)の検体である血清は検査実施まで凍結保存している検査センターが多いようですが冷蔵保存では値に変化があるのでしょうか？よろしくお願ひします。(匿名)

A2 お答えします

三光純薬でCARFの製品担当をしております戸沢と申します。抗ガラクトース欠損IgG抗体検査(CARF)の検体である血清は、冷蔵保存で1日は安定ですが、検体によっては経時的に低下(24日後に10%程度)することが、社内データで確認されております。

冷凍保存でしたら、1年以上全く変化ございませんので、冷凍保存をお奨めしております。

(三光純薬株式会社 営業企画部)
SE企画課 戸沢 邦彦



南 支 部 自 由 集 会 報 告

南支部長 中江健市 (近畿大学医学部附属病院)

11月1日(土)国立大阪南病院地域医療研修センターで“ISO15189と病院機能評価”をテーマに第14回南支部自由集会を開催しました。会場として使用させて頂いた研修センターは新病院同様に最新設備が備えられ勉強には抜群の環境でした(快適過ぎて居眠り数名?)。

先ず14時15分から中川氏(国立大阪南病院)の案内で約40名の希望者が1階の生理機能から2階の検体検査部門まで見学(モデルルームみたいの声)。今回のテーマに相応しい検査室で患者様への配慮・アメニ

ティ・プライバシー・機器配置・動線などなど大変参考になりました。

15時から17時半までは70名の参加者で勉強会。松尾氏(デイドベering社)にはISO15189と病院機能評価の概要とその違いを分かり易く説明して頂き、ボンヤリとしていたISO15189なるものが少し見えてきました。

杉山氏(岸和田市民病院)と秋山氏(近畿大学医学部附属病院)からは機能評価の実際を苦労話や裏話を交え報告して頂きました。

機能評価があるから…、ISOを習

得するから…では決してありませんが、何かがあったり、切羽詰らないと出来ない事ってありますよね。近大でも機能評価受審までの数ヶ月で、中身も見た目も随分と変わり職員が一致団結して取り組みました。ISO15189は費用面などなど簡単には行きませんが、これからの時代、国民が安心して信頼出来る検査データの保証を考えるとISO習得は必須になっていくのでしょうか？うううんん……難しい。

第2回 糖尿病療養指導士講演会 開催される

平成15年10月25日(土)、アピオ大阪(大阪市立労働会館・中央区森ノ宮)において第2回糖尿病療養指導士講演会が開催されました。「療養指導における心理学的アプローチ」というメインテーマのもと、糖尿病療養指導に関わっている技師や他職種コメディカルの方など、和歌山や兵庫といった遠方からこられた方々も含め、73名が参加されました。

講演はまず、糖尿病療養指導士として活躍されている済生会和歌山病院技師長の田中さんから、行動変化ステージ分類(前熟考期、熟考期、準備期、行動期、維持期)を意識した自己血糖測定(SMBG)指導について、具体的な介入方法や指導例などの話がありました。大阪府立急性期・総合医療センター副技師長の西川さんからは、グループ学習の方法や意義について話があり、療養指導には病態のみならず、患者自身の疾患の受容段階や心理学的ステージを理解することが必要で、チーム医

療として統一された指導を行うことが大切とまとめられました。その後の質疑応答も活発に行われ、糖尿病の患者さまと接するスタッフとして、さまざまな意見交換がなされました。

特別講演では、成人看護(慢性)クリニカルナーススペシャリスト(CNS)として、また糖尿病療養指導士としてもご活躍中の添田百合子さんから「事例を通して学ぶ看護支援テクニック」とのテーマで、糖尿病を慢性疾患として捉え、その特徴や患者の得るものと失うもの、課題などを事例も示しながらわかりやすくお話していただきました。看護モデル・病みの軌跡・病いの語り・病いの物語の分析など、普段耳にすることのない言葉がたくさん出てきて、どれも聞き逃すことのできない興味深いお話でした。質疑応答では、「チーム医療のスタッフとしての検査技師に望むもの」との質問に「専門知識を有するものたる指導

ができるように。検査の意義や結果の評価などを含め、検査技師という立場を自身の強みとしてアプローチできるように研鑽してもらいたい。チーム医療のなかでは全員がパートナーである」と返答されました。

第1回の講演会に続き、糖尿病療養指導という新しい分野での私たち臨床検査技師のおかれている現状や、使命の重要性、さらにはチーム医療のスタッフとして望まれることなどたくさんのお話を学ぶことが出来たと思います。

大臨技渉外部では、第3回糖尿病療養指導士講演会を平成16年2月21日(土)の午後に開催します。場所や詳しい内容については、大臨技ニュースに後日掲載する予定です。何らかの形で糖尿病に関わっておられる技師の方、今回は参加できなかったけれど、興味をお持ちの方、すでに参加されたことのある方も含めて多数の参加をお願いいたします。

大臨技渉外部 土井 まゆみ



私の子育ての役割りは、毎朝、保育園へ子供を送って行くことです。子供は3人で上が女の子、下が双子の男の子です。

以前の通園手段は、自転車の4人乗りで前に1人、後ろに2人乗せていました。自転車で走っていると、おばちゃんか、すれ違いざまに振り返って「えー、今後ろにふたり乗ってへんかった…」という声をよく耳にしました。

その日々に転機がおとすれたのです。いつものように自転車で走っていると、何かタイヤに挟まったような気がしたのです。そのとたん後部に乗せていた2人のうちの前の子が泣き叫びました。振り返ってみると血が点々と走ってきた方向に落ちていました。なんと、子供のかかとは血だらけになっていました。しまった、と思い家に帰り、救急車を呼びました。その車内でのこと、救急隊員に「うちも3人子供がいるけど、こんなことせえへんで。」と言われたそうです。

その後、我が家に軽自動車が増えたのは言うまでもありません。今では上の子は小学生になり、送って行くのは双子だけになりました。それもあと1年半です。

そしてまた、今日も自転車で走っています。

(大阪府藤井寺保健所 川井 和久)



☑ サンタクローズ村

☞ <http://www.santaclauslive.com/>

サンタクローズに出会いたいならこのページ、フィンランドのサンタクローズ村のHPです。

☑ 家族で楽しむクリスマス料理レシピ

☞ <http://www.e-recipe.org/features/christ2/>

12月に入ると街にはジンゲルベルが流れ、夜にはイルミネーションがきらめきます。大切な人と過ごしたい今年のクリスマス、どんなお料理を楽しみますか？

☑ 最高級のクリスマスツリーをご家庭にも

☞ <http://www.nakajo.co.jp/shop/index.htm>

本格嗜好の方に！！めったに手に入らないクリスマスツリーやオーナメントなどのクリスマス用品をあなたのご家庭にもいかがですか。

☑ Candle House

☞ <http://candle-house.jp/>

すてきなキャンドルで、あなただけのクリスマスライフを演出してください。

Cool Down

～名古屋へ行く～

先日、全国産業安全衛生大会というのがあって名古屋まで行った。今まで名古屋へは2,3回行ったことがあるがいずれも目的地までの移動だけで滞在は今回が初めてであった。名古屋に着いてさっそく会場に向かおうと駅の路線図を見て気づいたことがある。名古屋にはJR線・地下鉄・近鉄線・名鉄線があるがこれらが意外とうまく連絡されあっていないのだ。意外に不便だなと思いつつ移動し、駅を出て道を歩いててまた気づいたことがある。やけに道が広いのだ。私が歩いてたところだけがそうなんじゃないのかと言われそうだがそうでもない。歩道なんて余裕で自転車3台と横並びですれ違うことができそうだし、なんせ車線も片側5車線ときたもんだ。そんなことを感じながらも会場に到着。受け付けを済ませて袋の中身を見てみると名古屋観光案内が入ってる。これは助かるなぁと思いつつ他のパンフレットも探してみると名古屋ナイトマップなるものが。これまた助かるなぁ～と思いつつ広げるとそこにはスナックやクラブがいっぱい載っていた…。こんなところでこの学会の参加年齢層を感じとってしまったと同時に抜かりないな～と妙に感心してしまった。名古屋には結局3日間滞在していたが、その間に感じたのは名古屋はビジネスの街という色がかかなり強いと思う。何がどうと言うわけではないが、もし観光で名古屋に行こうとするならぎっと時間を持て余さだろう。ただ食べ物は美味しかった。お決まりではあるがひつまぶしと手羽先と味噌煮込みうどんを食べた。普段食べなれてない辛さのせいかわがすっかりしわしわになってしまった。今度行く時はもっといろんなお店(スナックじゃないですよ)をリサーチして行こうと思う。(今田晶子)

＝＝

平成16年度 会費納入のお願い

＝＝

平成16年度 会費納入時期となりました。会費は前納制をとっていますので、1月31日までのできるだけ早い時期に納入してください。
 なお、1月31日までに納入されないとき(継続の方は会誌「医学検査」が中断されますので念のためご案内します。

	納入金額
①日本臨床衛生検査技師会	10,000円
②大阪府臨床検査技師会	4,700円
③近畿臨床衛生検査技師会	300円
合 計	15,000円

会費領収書について

1. 原則として領収書の発行は行いません。
(郵便振込時の控をもって領収書といたします。)
2. 特に領収書を必要とされる方は大臨技事務所まで申し出てください。

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

○新入会員の方は、入会金6,500円(日臨技2,000円、大臨技4,500円)が加算されますので、合計21,500円となります。

○なるべく施設毎にまとめてお振込みください。

○納入の際は必ず施設名と会員番号をご記入ください。

○会員の「継続」、「入会」、「異動」などの届出は、日臨技ホームページのJAMTIS、または所定用紙の郵送をお願いします。TEL、FAXでの届出はご遠慮ください。なお、JAMTISによる届出方法に関する詳細、所定の郵送用届出用紙の綴じ込みは、会誌「医学検査2003年1月号Vol.52、No.1」に掲載されています。

○特に住所変更については、必ず届出をしてください。
 届出をされませんと、宅急便のメールサービスを利用した大臨技からの郵送物は、あて先不明で配達されなくなります。

ご注意 免許申請中で入会された方は、「免許番号・取得年月日」を速やかに大臨技事務所へ連絡してください。入会登録もできませんし、3月末日をもって除籍扱いとなります。

＝＝

小型便潜血分析装置 QUICK RUN

この1台で 2つの項目が測定できます!



便潜血

- 小型で操作は簡単
- 分析結果を数値で出力
- 分析は金コロイド比色法
- 試薬はシングルテストタイプ
- カード方式によるキャリブレーション

尿中蛋白質

- 分析はビロロロールレッド法

採便容器

- 表面消毒法に対応したプラスチック容器です。
- 便の性状を問わず採便しやすいのが特徴です。



和光純薬工業株式会社
 1103-0023 愛知県中川区山崎4-5-13 TEL: 03-3270-8134(FAX: 03-3270-8135)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX : 06-6644-1128 E-mail : imai@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付下さい。

1月号の原稿〆切は 12月3日(水)、2月号は 1月7日(水) です。